

施設長 各位
看護部長

公益社団法人 大阪府看護協会
会 長 弘 川 摩 子

No.306 令和5年度「大阪市 看護職員認知症対応力向上研修」開催について（ご案内）

日頃より、本会の事業推進にご理解ご協力を賜りお礼申し上げます。

このたび、大阪市より標記研修を受託し、開催することになりました。つきましては、下記のとおりご案内申し上げますので、よろしくお願いいたします。

記

<本事業の目的>

認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、医療機関等に入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得し、同じ医療機関等の看護職員に対し伝達することで、医療機関内等での認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築を目的とする。

1. 研修対象者（上記、研修目的が到達できる方）

- ・大阪市内で勤務する看護職（保健師・助産師・看護師）で以下1)～3)に該当する方。
 - 1) 看護管理者もしくはリーダークラスの看護職、2) 教育的役割を担っている看護職もしくは指導を担っている看護職、3) すでに認知症看護委員会で活動されている看護職
- ・「ZOOM」による研修受講可能なパソコン（カメラ付き）もしくはタブレット等の端末を1人1台使用できる通信環境がある方。
- ・研修中は着席、カメラONにして、お顔を確認しながら受講。自施設で受講の場合は、受講に集中できる環境を確保できる方。

2. 定員：130名程度

3. 受講料：無料

4. 研修方法：1日目は「ZOOM」配信。2・3日目はナーシングアート大阪に集合し対面形式で開催。

5. 研修日：【1日目：ZOOM】令和5年10月11日（水）

【2日目：対面】令和5年10月18日（水）

【3日目：対面】令和5年10月19日（木）

6. 申込期間：令和5年7月7日（金）～7月28日（金）

7. 申込方法：大阪府看護協会ホームページより、WEB申込をしてください。

8. 修了証書の交付：研修プログラム全課程を受講した方に、後日、大阪市長名で修了証書を発行いたします。所属施設の看護部代表者様もしくは施設代表者宛で送付いたします。（遅刻・早退・欠席された方には交付いたしません）

尚、研修修了者が在籍する病院に対し、地域の認知症医療体制の推進及び管内の認知症の人、及びその家族等の受診の利便性に資するため、研修修了者が在籍する病院として病院名等を大阪市より何らかの方法で公表いたします。

2023年度 大阪市看護職員認知症対応力向上研修

研修目的 : 認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、医療機関等に入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得し、同じ医療機関等の看護職員に対し伝達することで、医療機関内等での認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築を目的とする。

対 象 : 大阪市内で勤務する看護職（上記目的が到達できる方）

1. 看護管理者もしくはリーダークラスの看護職
2. 教育的役割を担っている看護職もしくは指導を担っている看護職
3. すでに認知症看護委員会で活動されている看護職

※准看護師は除く

※応募多数の場合は未受講施設を優先させていただきます。

※大阪府や堺市内で勤務されている場合、申込できません。大阪府・堺市開催の研修へお申込ください。

定 員 : 130名

研修期間 : 2023年10月11日（水）・10月18日（水）・10月19日（木）

研修会場 : 公益社団法人大阪府看護協会 ナーシングアート大阪

方 法 : 開催日により完全オンライン（ライブ配信型）もしくは集合研修

（感染状況等やむを得ない事情で集合研修がオンライン研修となる場合もあります。変更は追って連絡します）

費 用 無料

カリキュラム ※国が2016年研修開始時のカリキュラムを2023年に改定しました

（1日目） 第1回 2023年10月11日（水）：オンライン開催

	項目	ねらい/ 到達目標	主 な 内 容	講 師
9:30 ～ 12:40 (途中 10分 休憩)	知識 講義	ねらい： 認知症の人の入院から退院までのプロセスに沿って認知症の原因疾患の病態・特徴等の基本知識を習得する 到達目標1： 病院における認知症の人の現状や課題を理解し、修了後の役割を理解する 到達目標2： 実践対応力の前提となる認知症の原因疾患の主な症状や特徴を理解する 到達目標3： 認知症の人を支える施策・制度及び社会資源等を理解する	1. 研修の目的・意義 2. 一般病院等での認知症の現状と課題 3. 病院及び看護師の役割 4. 認知症の原因疾患の特徴・病態 5. 認知機能障害とBPSD 6. 認知症と鑑別すべき他の疾患 7. せん妄の特徴や症状 8. 認知症の薬物療法と非薬物的対応 9. 若年性認知症の特徴 10. 認知症の重症化予防 11. 認知症を取り巻く施策（認知症施策推進大綱等）	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院 認知症看護特定認定看護師 副看護師長 富永 純子

12:40～13:40

休憩

13:40 ～ 16:15 (途中 5分 休憩)	実践 対応 力 講義	ねらい： 認知症の人を理解し、より実践的な対応力（アセスメント、看護技術、院内外の連携等）を習得する 到達目標1： 認知症及び認知症の人とその対応の原則について理解する 到達目標2： 認知症の症状・特徴を踏まえた基本的な対応（アセスメント、看護技術、環境調整等）を行うことができる	1. 認知症の人の行動等の理解 2. 認知症の人に対する看護の基本原則（パーソン・センタード・ケア） 3. 認知症の人とのコミュニケーションの基本 4. アセスメントのポイント 5. 認知機能障害への対応 6. BPSDの要因・症状と対応 7. 身体管理・症状経過を踏まえた対応 8. せん妄への対応	社会医療法人三宝会 南港病院 認知症看護認定看護師 看護師長 藤原 香子
---	---------------------	---	---	---

(2日目) 第1回 2023年10月18日(水) 集合研修

時間	項目	ねらい/ 到達目標	内容	講師
10:00 ～ 12:35 (途中 5分 休憩)	実践 対応 力 講義 (150 分)	到達目標3: 病棟等における実践的な対応 (チーム対応、院内外の連携、介 護者支援等)を行うことができる	9. 退院支援 10. 病棟等におけるチームケアの意義 11. 多職種連携 12. 倫理的課題と意思決定支援・権利擁護 13. 身体拘束の原則等	大阪赤十字病院 認知症看護認定看護師 看護師長 奥蘭 文代
12:35～13:35		休憩		
13:35 ～ 14:05	実践 対応 力 講義 (30 分)		14. 家族(介護者)の支援 15. 社会資源と地域連携	
14:05 ～ 16:05	実践 対応 力 演習 (120 分)		【演習】 1. BPSD・せん妄への対応の事例検討(要因の 検討とケアについて) 2. 身体拘束への対応の事例検討(チーム・連携に よる対応)	【ファシリテーター】 市立岸和田市民病院 患者支援センター 認知症看護認定看護師 看護師長 福島 洋子 宗教学人在日本南プレスビ テリアンミッション 淀川キリスト教病院 看護スペシャリスト室 認知症看護認定看護師 看護主任 瓜崎 美幸

(3日目) 第1回 2023年10月19日(木) 集合研修

時間	項目	ねらい/ 到達目標	内容	講師
9:30 ～ 11:00	体制 構築・ 人材 育成 講義 (90 分)	ねらい： 病棟等における認知症ケア体制 (院内・地域)の構築及びスタッ フ育成・教育等の知識と技法を習 得する	1. 病院・病棟全体で取り組む重要性 2. 体制構築に向けた取り組み 3. スタッフ育成の目標設定 4. 研修の企画立案・研修実施のポイント 5. 研修の効果測定と受講後のフォローアップ	社会医療法人 ペガサス馬場記念病院 認知症看護認定看護師 副看護部長 高橋 良美
11:00 ～ 12:30	体制 構築・ 人材 育成 演習 (90 分)	目標1： 病院・病棟の課題を把握し、体制 等の実情に応じて、病院・病棟や 地域単位で認知症ケアに取り組む 体制の構築を考えることができる	【演習】 自施設の課題整理と改善に向けた方策（課題整理から 行動計画立案（認知症ケアの体制整備）まで）	【ファシリテーター】 医療法人協和会 千里中央病院 現任教育担当師長 福田 圭子 公益財団法人 浅香山病院 認知症看護認定看護師 山本 朝美
12:30～13 休憩				
13:30 ～ 14:30	体制 構築・ 人材 育成 演習 (60 分)		【演習】 自施設の課題整理と改善に向けた方策（課題整理から 行動計画立案（認知症ケアの体制整備）まで）	
14:30 ～ 17:00	体制 構築・ 人材 育成 演習 (150 分)	目標2： 自施設において看護職員向けの研 修を企画・実施し、継続学習を含 むスタッフ育成計画を立てることが できる	【演習】 研修の企画立案と研修評価・フォローアップの検討（研 修実施に加え、研修後の評価や受講者フォローアップま で）	
17:00 ～ 17:10	(10分)		修了に関するオリエンテーション	

※研修申込サイトのプログラムへ掲載いたします